



『大宮中精神：優しさをもって、夢や目標に向かって、挑戦する若者であれ！』

5/19（月）全校朝礼校長講話 『ベゴニアで考えたこと』の話

～大宮中を支えている方々～

皆さんはこの花を知っていますか？ベゴニアといいます。この鉢は卒業式で使ったものです。今年度は同じ鉢を入学式でも使って、現在も元気に校舎内を飾っています。これは当たり前のことはありません。一鉢が高価なベゴニアですが、意外に栽培が難しい。卒業式で使った後、春休みの間に枯らしてしまい、四月に入学式のために新たな鉢を購入していました。私は今年度、用務員さんに園芸が得意な方が配属されたことを知りました。そこで鉢植えが長持ちするように管理を依頼してみました。二瓶さんという方ですが、春休みからずっと水やり（少なすぎてもやり過ぎても駄目）や日当たりの調節（日向と日陰の移動）を心がけて、その結果今も元気に咲き誇っています。用務員さんには、木村さん、正木さんもいらして、毎日皆さんに快適に過ごせるように仕事をしてくださっています。三年生は校舎内やトイレが以前よりきれいになったことに気付いていますか？生徒の皆さんや教職員が気持ちよく安全に過ごせることに、知恵を絞って誠実に仕事をしてくださっている結果です。きれいなトイレは校舎に運気を呼び込んでくれています。

他にも、二階の壁を飾っているアート作品に気付いていますか？毎月季節をモチーフに立体的な作品で、私たちの目を楽しませてくれています。これは事務室の村松さんという女性スタッフが創作してくれているものです。ご本人は「趣味で楽しんで作っているだけです」と言っていますが、今後（いいなあ）と思う作品があったら感想を直接伝えてみましょう。そういえば先ほどのベゴニアについて「毎年短期間で枯らしてしまって保たせるのが難しいです」と私に教えてくれたのは、同じ事務室の竹内さんという男性スタッフです。また先日から雨の日の『昼の読書』が始まっていますが、図書館も年々整備されて面白そうな本が所狭しと並んでいます。雑誌類も部活動の生徒が興味をもってくれそうなものに変更されていることに気付いていますか？司書の大峠さんによって、生徒の皆さんのが少しでも読書に積極的になってくれるように工夫を凝らされています。給食室では毎日美味しい給食を、チーフの鈴木さんを中心に調理員さん方が作ってくれています。皆さんのが何気なく出した残菜を前に、（どうしたら食べもらえるか？）調理に知恵を絞っています。おそらく戻ってきた食缶類がピカピカの空になっているのを見ることが、何よりの喜びでしょう。

今朝紹介した方々は、先生方以外にも大宮中を支えてくださる方が沢山いて、単に仕事だからやっている以上のことを、皆さんのために提供してくれていることを感じてみてください。校舎内で会ったら、そんなことを頭に置いて丁寧に挨拶をしてみませんか。😊



By Rio

授業ぶらっと訪問⑬

今回は今年配属された新規採用教員三人です。
題して「新人さん、いらっしゃい！」

5月8日(木) ①2AB 数学 上田望鈴先生

13人の少人数基礎クラスの授業です。上田先生は今年度新規採用の若手の新人教員です。どんな授業か楽しみです。本時の目標は『数の性質を説明できるようになろう』と電子黒板に書かれました。冒頭に前時の復習(数式を文字nやm等で表す)について確認してから、小テストに入ります。小テストの内容は、『m、nを整数とすると、一つ目の奇数は()で、二つ目の奇数は()と表せる。その2数の和は、()となる。したがって、奇数と



奇数の和は偶数となる』という問題です。偶数や奇数を文字で表すことで思考を深めます。偶数は2の倍数、奇数は2の倍数に+1した数という性質がつかめるようになれば解答を導けますが、具体的な数字ではなく抽象的な文字式を操ることには慣れが必要です。前時の復習問題と思われますが、GW明けで思い出すのに苦労している生徒が多い様子です。上田先生は「これから自分で文字式を立てることが増えてハードルが上がるけれど頑張りましょう。これからは色々な問題に触れて慣れていくしかない！」と伝えていました。授業では、この後さらに文字式づくりのレベルを上げていきます。上田先生の手作りワークシートが配られます。今度は『3つの続いた整数の和は、()になる。問題の条件の3つを5つに変えて、5つの続いた整数の和にはどんな性質があるか予想しよう』という問題です。そういえば、私が中学生時代に「数学で数字を文字に置く時にnとします」と当たり前のように教わったのですが、何でnなんだろうと不思議(違和感)に

思っていた記憶が蘇りました。今ならnはNatural number(自然数)の頭文字なのかな?と想像できますが、何でjとかkじゃないの?と当時はモヤモヤしていました。この問題を考えるにあたって、4人の小グループになって、個人で考える時間とグループで考える時間を取っていました。途中で上田先生が黒板を使って、倍数になることを説明しているところで時間になってしまいました。上田先生「宿題として各自で説明できるようになっておくこと」生徒「ぎょえー」で終了しました。上田先生は若々しくハキハキと聞き取りやすい声でしゃべって明るい雰囲気でした。質問に対する生徒の答えが求められる内容の時「いいじゃん。いいじゃん」が口癖の様子です。生徒とは既に一定の信頼関係を築けている様子で安心しました。

5月8日(木) ③3B 理科 河野先生

河野先生もニューカマー、新規採用教員です。いつもニコニコしていて優し気な印象です。前時の復習から。三年生の理科は、原子の周期表、原子の構造とイオンを前時でやった様子です。電子黒板を使って復習をします。3年生は6×7に机が並んでいて教室が狭いですが、生徒は落ち着いていて(勉強するぞ!)という空気感が漂っています。3B教室は黒板がとてもきれいで素晴らしい。「よく学び、よく遊べ」で一年間頑張ってほしいです。さて授業は、『電子配列』『18族の元素』『貴ガス』『最外殻電子』…。難しい用語が次々に出てきます。うろ覚えですが、自分が中学時代にはなかった用語や内容です。電子配列や電子のやり取りについて、Na原子が最外殻電子1個を失いやすいために、Na⁺になりやすい(電子は11個あって1個失うと10個で-10、陽子が11個で+11だから差し引き+1となりNa⁺になる)と説明をします。同様にCl原子は最外殻が7個あるから、電子を1個取り入れやすいためCl⁻になるという理屈です。何しろ目に見えないミクロのサイズの理屈です。説



明も大変そうですが、河野先生は「私は大学が化学系だったのですが、大学時代は高校ではこんな感じで教わったけれど、実はね…という高度な内容が結構あって、化学は面白いですよ」といった余談もちらちら出しながら、生徒を飽きさせないで授業を進めていました。その後、中二で習った電気分解の仕組みをイオンを使って説明していきます。電流が流れるのは電子の移動。銅イオン Cu^{2+} は電子を受け取り、陰極に付着、陽極では塩化物イオン Cl^- が電子を与えるといったイオンの動きを使って電気分解を説明できることを理解させていました。ふと「今日は○○君、○○さん静かだね。大丈夫かな?」と河野先生がつぶやきます。河野先生、時折絶妙なタイミングでつぶやきが出ます。最後に次の予告。電池とイオンを扱います。「次回は金属のイオン化バトルの話になります」と河野先生が宣ったところでチャイムが鳴りました。生徒は元気に挨拶をして終了しました。終了後に質問をする二、三人の生徒の姿も見られました。河野先生のスタイル（おだやかにニコニコしながら、時につぶやきも交えて軽妙なジョークや科学のエピソードをさりげなく挿入しながら、難しい内容をかみ砕いて説明していく）に、生徒は馴染んでいる様子で安心しました。

5月9日（金）①2A国語 堤先生

堤先生も新規採用のニューカマーです。本時は朝イチの授業ですが、堤先生の歯切れの良い元気のある声で授業が始まりました。この授業は文法の授業です。最初に前回の授業の復習をサラッと確認しています。前回出てきた自立語、付属語といった文法用語を、全体に問い合わせたり指名して確認しています。まだ頭が回転していないのか、生徒の反応はもう一つです。電子黒板に、『★活用とは⇒語につく言葉や文中での働きにより、単語の形が規則的に変化すること』と表示されています。本時は堤先生自作プリント使用で動詞について学びます。自動詞と他動詞の違い。「変える」と「変わる」。例えば時間割を「変える」は他動詞。堤先生「時間を変えるという風に、『を』が付いたら他動詞と覚えておきましょう」と伝えています。次に動詞の活用について、後ろにどのような言葉が付くかによって、未然形、連用形、終止形、連体形、仮定形、命令形の六種類に分けることを説明していきます。堤先生は「覚える

のは大変なんですが、コツは何度も声に出して唱えるとすぐに覚えられます」と伝えていました。次に、六種類の活用形の見分け方を勉強します。扱う例文が面白い。「寝る時にはいつも抱き枕を抱える」は、「動詞の後に体言（名詞）が付くことで見分けます」という説明をします。堤先生、ふと「皆さん抱き枕とか使っている人はいますか?」と全体に振ります。生徒は（ん?）という感じで顔が上がります。堤先生「私は以前使っていました。いつの間にか使わなくなってしまいました」と笑顔で話します。それで例文が抱き枕でしたか。その言葉に反応して、この授業で初めて生徒が笑顔になる様子が見られました。ここまででは生徒は堤先生の説明を聞いている時間でした。ここからプリントを使って、練習問題に入ります。まず個々に考えながら解いています。



その後、隣の人と相談しながら取り組んでいました。生徒同士で「連用形は何?」等と聞きながら活発に取り組み始めました。「書く」の連用形は「書き」ですが、「書いて」も連用形なのか、生徒はどう思っているだろうか私に疑問が湧きました。そっと堤先生に聞いてみると「『書いて』は『書きて』がしゃべりやすいように変形した語で連用形ですが、こういう言い換えをイ音便と言います」と明快に答えてくれました。流石に国語の専門家です。最後に練習問題の答え合わせをしながら、五段活用、上一段活用、下一段活用、力行変格活用、サ行変格活用を確認していました。残り2分となってしまい、最後は早足になってしまいましたが、堤先生が「ちょっと詰め込みすぎましたかね。次の時間に補足しますね」と、申し訳なさそうに生徒に伝えて終了しました。堤先生の性格が滲み出る優しく丁寧な授業となっていて安心しました。優しい声色で実は空手黒帯というギャップも意外で、楽しい堤先生の授業で安心しました。

5

1 (木)

G組校外学習 高尾山ハイク



永福町駅に集合して、電車で高尾山ハイキングに班行動で行きました。当日は好天に恵まれて、高尾山口から一号路を登っていきました。最初の傾斜がかなりきつく、生徒は一列で時折おしゃべりしながら頑張って歩きました。途中休憩を入れながら、一時間半ほどで山頂に着いた時には、生徒は「やった～。着いた～」と笑顔で満足そうでした。少し遅れた生徒を待っていて、拍手で迎えて温かいムードでした。山頂にはぎっしりたくさんの中学生がいました。何とか坐る場所を確保してお弁当をいただきました。その後記念撮影をしてから下山を開始して、途中で買い物学習をしながら降りました。永福町駅でお迎え引き取りいただいた保護者の皆様には感謝いたします。

5

14~15

フレンドシップ スクール (1年)

ハケ岳方面に一泊二日で実施しました。実行委員会が考えたスローガンは『一人一人が礼儀や責任感を持って、楽しめるフレンドシップスクールにしよう』でした。笑顔にあふれて友情を深める楽しい二日間を、という生徒の願いを感じました。

一日目、当日は快晴でした。大宮小前からバス三台でハケ岳に向かいます。昼前に小淵沢町の体育施設に着いて、グラウンドに臨む石のスタンドでお弁当を食べました。いよいよ午後はチームビルディングです。二名のファシリテーターの進行で、6チームに分かれて様々なワークに取り組みました。最初の1時間はアイスブレイク、後半1時間半はチームで課題に取り組みました。丸く輪になって、フラフープくぐり等で盛り上りました。全員で協力して知恵を出し合って、課題をクリアすることで、自然に仲が深まっていく仕掛けです。(自分も中学時代にこんなことをやりたかった

な)と思いました。千メートルの標高で涼しいとはいえ、強い日差しの下で楽しそうに取り組んで、まさに『よく学び、よく遊んで』いました。チームビルディングが終了後、バスで近くの宿舎に到着します。目にした宿舎はハイグレードなホテルで、生徒からもバスの中で「お～!」「わ～!」と歓声が上がります。すぐに入浴と買い物時間です。一緒に入った大浴場で、男子生徒から「校長先生、こんな素晴らしいホテルで修学旅行が超楽しみになりました!」と言われました。(さて?) 18時から夕食でご馳走に舌鼓を打ちました。夜は室内レクもありました。生徒は盛り上がり、親交を深めていました。

二日目は6時半起床。カーテンを開けると今日も快晴の空が…。各部屋で荷造りをして朝食。



これが美味しい。その後宿舎を離れ、クラインガルテンに到着、農業体験で田植え体験を行いました。田んぼの水温も温かく、泥の感触に生徒は興奮して「う××踏んでるみたいだ～」と言いながら、苗を見よう見まねで植えていました。昼には温かいほうとうをいただき、帰路に着き無事に一泊二日を終えて帰還できました。

5/31(土)は運動会です

ここまで全校で練習、準備に取り組んできました。当日は8:30開会で12:15終了の半日実施です。半日ですが中身はぎっしり詰まっています。昨年度の保護者、生徒アンケートを参考にして、生徒会種目(部活動対抗リレー)を増やし、保護者の方が観戦しやすいように、保護者の応援ゾーンを従来の体育館側に加えて対角側にも設けました。お子様のリレーやダンスの出番の場所を聞いておけば、近い場所で応援が可能となります。特に今年度は、表現の『ソーラン節』『3年創作ダンス』の仕上がりが見ものです。お子様がどこで踊っているか知っておくと、応援の楽しみが増すはずです。お時間が許す限り、開会式から閉会式までご参観をよろしくお願ひします。